

ポスターセッション(紙ポスター) [1日目] 6月25日(土) 第2会場(Room D)

13:10~14:00 [実践(家族への支援)] 座長: 松田 宣子 神戸大学大学院保健学研究科

P-05 児童デイサービスに通園する発達障害児と家族への保健師による支援

○子吉 知恵美¹⁾、田村 須賀子²⁾
¹⁾石川県立看護大学、²⁾富山大学

P-06 乳幼児健康診査で発達障害を危惧した子どもと家族の児童デイサービス利用前後の援助ニーズ

○田村 須賀子¹⁾、子吉 知恵美²⁾
¹⁾富山大学大学院 医学薬学研究部(地域看護学)、²⁾石川県立看護大学 看護学部

P-07 熟練保健師による児童虐待ハイリスク家庭の親に対する支援技術

○松村 ちづか
埼玉県立大学 看護学科

P-08 多重課題を抱える家族の支援

○野村 知恵子、本干尾 八州子
津山市役所 健康増進課

14:10~15:00 [実践(家族機能と家族への支援)] 座長: 大脇万起子 滋賀県立大学人間看護学部

P-09 認知症高齢者を介護する家族における家族機能の特徴

○小澤 芳子
埼玉県立大学

P-10 主介護者の介護負担感に影響を及ぼす因子の検討

○鈴木 智子¹⁾、村田 伸²⁾
¹⁾徳島文理大学 保健福祉学部 看護学科、²⁾西九州大学リハビリテーション学部

P-11 日帰り手術を受ける子どもの母親の不安

○田中 綾、中垣 紀子、式守 晴子
静岡県立大学大学院 看護学研究科

P-12 地震災害後の子育て期の家族の特徴 —災害後6年が経過して—

○久保 恭子^{1,2)}、田崎 知恵子²⁾
¹⁾埼玉医科大学 保健医療学部 看護学科、²⁾日本保健医療大学

15:10~16:00

〔実践(家族のケース報告)〕

座長: 泉キヨ子 帝京科学大学医療科学部

P-13 家族とともに歩んだ寄り添う看護
— 逆流性嘔吐症により胃婁造設まで至った症例の一考察 —

○山下 義隆
宮城厚生協会 坂総合病院

P-14 終末期がん患者の家族看護 — 在宅ターミナルから病院死に移行した事例 —

○森下 説子、窪田 恵理、菅原 かおり、川井 正子
明石市立市民病院

P-15 在宅がんターミナル療養者を看取る主介護者(嫁)の経験する不安定要素の変化と看護介入

○井上 純子¹⁾、石垣 和子²⁾
¹⁾さんむ医療センター訪問看護ステーション、²⁾石川県立看護大学

P-16 施設入所を自己決定するに至った ALS 患者の家族面談
— 訪問看護師の役割を考える —

○樋口 妙子
倉敷中央訪問看護ステーション

16:10~17:00

〔実践(家族のケース報告とインターベンション)〕

座長: 渡邊 久美 岡山県立大学保健福祉学部

P-17 入院生活を送りながらも家族の時間を持つことができたがん終末期患者と家族の事例検討

○柴田 亜弥子
愛知県がんセンター中央病院

P-18 がん終末期を迎えた患者と家族へのかかわり
— 家族エンパワーメントモデルを用いて振り返る —

○段 浩美¹⁾、岩瀬 信夫²⁾
¹⁾愛知県がんセンター中央病院、²⁾愛知県立大学 看護学部

P-19 カルガリー式家族アセスメントモデルの学習効果：
演劇制作を用いた表出的機能の学習に焦点化した分析

○大野 佳子¹⁾、小林 奈美¹⁾、田久保 由美子²⁾、山岸 貴子²⁾、森谷 栄子¹⁾、中井 泉¹⁾
¹⁾北里大学看護学部、²⁾北里大学大学院 看護学研究科

P-20 自死遺族を支援する看護者が認知するグループに参加する初期の家族の苦悩

○粟生田 友子¹⁾、大久保 明子¹⁾、浦山 留美²⁾、櫻井 信人¹⁾、川里 庸子¹⁾
¹⁾新潟県立看護大学、²⁾国立病院機構北陸病院

13:10~14:00

〔実践(家族看護の役割)〕

座長: 山口 桂子 愛知県立大学看護学部

P-21 看護学生が捉える家族の範囲

○工藤 文子¹⁾、三上 みどり¹⁾、北宮 千秋²⁾、藤田 あけみ³⁾、市川 美子⁴⁾、
西沢 義子²⁾、丹代 房枝¹⁾、境 恵理子¹⁾、佐藤 弥生⁵⁾、磯邊 優子⁵⁾

¹⁾弘前市医師会看護専門学校、²⁾弘前大学大学院保健学研究科、
³⁾青森県立保健大学健康科学部看護学科、⁴⁾八戸市立高等看護学院、
⁵⁾国立病院機構弘前病院附属看護学校

P-22 看護学生が捉える家族について 一家庭の雰囲気を中心に一

○藤田 あけみ¹⁾、三國 裕子²⁾、市川 美子³⁾、佐藤 美佳⁴⁾、壬生 寿子⁴⁾、
北宮 千秋⁵⁾、西沢 義子⁵⁾、工藤 文子⁶⁾、三上 みどり⁶⁾、中村 由美子¹⁾

¹⁾青森県立保健大学 健康科学部 看護学科、²⁾青森市立高等看護学院、³⁾八戸市立高等看護学院、
⁴⁾八戸短期大学 看護学科、⁵⁾弘前大学大学院 保健学研究科、⁶⁾弘前市医師会看護専門学校

P-23 看護基礎教育の課程別にみた看護学生の家族の役割の捉え方

○市川 美子¹⁾、佐藤 美佳²⁾、壬生 寿子²⁾、藤田 あけみ³⁾、工藤 文子⁴⁾、
三上 みどり⁴⁾、西沢 義子⁵⁾、北宮 千秋⁵⁾、中村 由美子³⁾、三國 裕子⁶⁾

¹⁾八戸市立高等看護学院、²⁾八戸短期大学 看護学科、³⁾青森県立保健大学 健康科学部 看護学科、
⁴⁾弘前市医師会看護専門学校、⁵⁾弘前大学大学院 保健学研究科、⁶⁾青森市立高等看護学院

P-24 看護学生が捉える家族の役割について 一教育課程別にみた社会的スキルとの関連一

○佐藤 美佳¹⁾、壬生 寿子¹⁾、市川 美子²⁾、藤田 あけみ³⁾、工藤 文子⁴⁾、
三上 みどり⁴⁾、西沢 義子⁵⁾、北宮 千秋⁵⁾、中村 由美子³⁾、三國 裕子⁶⁾

¹⁾八戸短期大学看護学科、²⁾八戸市立高等看護学院、³⁾青森県立保健大学健康科学部看護学科、
⁴⁾弘前市医師会看護専門学校、⁵⁾弘前大学大学院保健学研究科、⁶⁾青森市立高等看護学院

14:10~15:00

〔家族看護の役割と家族支援モデルの応用〕

座長: 片倉 直子 千葉県立保健医療大学健康科学部

P-25 外来看護師における障がいをもっている対象者の家族および家族ケアに対する認識

○岩山 朋裕¹⁾、藤原 正恵²⁾、寺口 佐典子¹⁾、江間 祐恵¹⁾、河原 宣子¹⁾、
上山 晃太郎¹⁾、穴吹 浩子¹⁾、福島 文子³⁾、野々下 イツミ³⁾

¹⁾京都橘大学 看護学部、²⁾宝塚大学 看護学部、³⁾舞鶴共済病院

P-26 ALS患者と家族への病名告知における研究の動向

○角野 加恵子¹⁾、中谷 久恵²⁾

¹⁾島根大学大学院医学系研究科看護学専攻修士課程、²⁾島根大学医学部看護学科地域看護学講座

P-27 こころのケアを要する子どもの家族との関わりにおける養護教諭のスキルとニーズ

○渡邊 久美¹⁾、岡崎 愉加¹⁾、村上 礼子²⁾

¹⁾岡山県立大学、²⁾岡山赤十字看護専門学校

P-28 看護師の家族システム看護実践に対する認識 一研修会参加者の自由回答の分析一

○田久保 由美子¹⁾、小林 奈美²⁾

¹⁾北里大学大学院 看護学研究科、²⁾北里大学看護学部

15:10~16:00 [研究デザイン(質的な家族看護学研究)]

座長：山本 則子 東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科

P-29 退院の意思決定に影響を与える家族／家族員ビリーフ：
慢性疾患病児とその家族への面接調査

○山下 知美¹⁾、法橋 尚宏²⁾、堀口 和子³⁾

¹⁾淀川キリスト教病院、²⁾神戸大学大学院 保健学研究科、³⁾兵庫医療大学

P-30 NICU 退院後の超低出生体重児を持つ母親のナラティブの意味

○池内 和代¹⁾、内藤 直子²⁾

¹⁾高知大学医学部 看護学科、²⁾香川大学 医学部

P-31 医療的ケアの必要な児を持つ母親の思いの変化
—きょうだいに対する思いに焦点をあてた面接から—

○小郷 彩

倉敷中央訪問看護ステーション

P-32 双子をもつ母親の子育てのプロセスの質的研究

○片山 理恵、内藤 直子

香川大学 医学部

16:10~17:00 [研究デザイン(質的な家族看護学研究)]

座長：上別府圭子 東京大学大学院医学系研究科

P-33 在宅認知症高齢者の急変時対応に関する家族介護者の思い

○松本 啓子

川崎医療福祉大学 医療福祉学部

P-34 高齢で意思疎通困難患者の主たる看取りをする家族員が配偶者と子どもの場合との
家族ニーズの比較(その1)

○山田 直子¹⁾、山崎 未来¹⁾、戸井間 充子²⁾

¹⁾光市立大和総合病院、²⁾前山口県立萩看護学校

P-35 高齢でターミナル期の意思疎通困難患者を持つ家族の納得のいく看取りへの
看護介入(その2)

○山崎 未来¹⁾、山田 直子¹⁾、戸井間 充子²⁾

¹⁾光市立大和総合病院、²⁾前山口県立萩看護学校

P-36 C型肝炎由来の肝臓がん患者の配偶者の思い
—肝動脈塞栓術を受けている患者の配偶者の語りから—

○千葉 のり子¹⁾、小野 知美²⁾

¹⁾聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科、²⁾共立蒲原総合病院